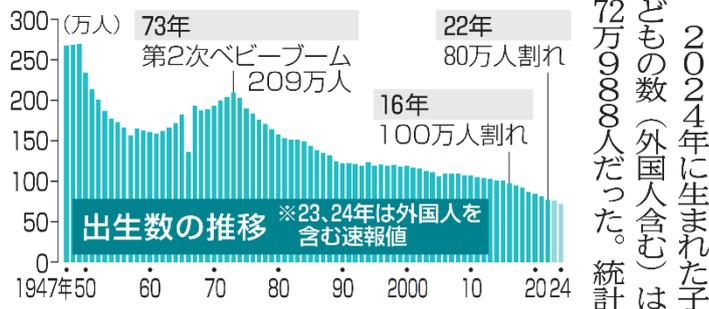


年 月 日 /

学校 年 組 番 名まえ

【問1】 1947年以降で  
出生数がもっと遠  
かったのは何年？



# 出生最少72万人 24年自然減最大89万人

2024年に生まれた子  
どもの数(外国人含む)は  
72万988人だった。統計

を取り始めた1899年以  
降で最少。23年より3万7  
643人(5・0%)減り、  
9年連続で最少を更新し  
た。全都道府県で減少した。  
死亡数が出生数を上回る  
「自然減」は89万7696  
人で過去最大。少子化は政  
府想定より15年速いペー  
スで進んでおり、歯止めが  
からない状況だ。

## (3面に関連記事)

厚生労働省が27日、人口  
動態統計の速報値として発  
表した。今後発表する日本  
人だけの出生数は初めて70  
万人を割る可能性が高まっ

【問2】 政府が、出生数が  
72万人台になると想定していたの  
は何年？

【問3】 2024年の茨城  
県内の「自然減」は  
何人？

ている。

物価高で子育てへの経済  
的不安が高まったことや、  
未婚・晩婚傾向が進んだこ  
とが背景にあるとみられ  
る。婚姻数が新型コロナウ  
イルス禍で大幅に減ったこ  
とも響いた。厚労省は「結  
婚や子育ての希望を阻む要  
因が複雑に絡み合ってい  
る」と説明した。

## 国立社会保障・人口問題 研究所の将来推計(中位推 計)では、外国人を含む出 生数が72万人台になるのは 39年と見込んでいた。日本 人だけの出生数は、厚労省

が6月ごろに発表する。速  
報値との差が23年と同様の  
傾向なら、24年は69万人前  
後にとどまる計算だ。  
24年の死亡数は2万81  
81人増の161万868  
4人で過去最多。高齢化に  
伴い、4年連続で増加した。  
婚姻数は49万9999組。  
90年ぶりに50万組を割った  
23年より1万718組増え  
たが依然低迷している。  
人口減で働き手が少なく  
なれば、企業や自治体はサ  
ービスを維持できなくな  
る恐れがあり、医療や年金  
といった社会保障制度に

# 県内最少1万4843人

本県で2024年に生ま  
れた外国人を含む子ども  
数(出生数)は前年比752  
人減の1万4843人で、  
過去最少だったことが27  
日、厚生労働省の人口動態  
統計(速報値)で分かった。  
死亡数は1369人増の

も打撃となる。政府は30年  
までを「少子化反転のラス  
トチャンス」とし、児童手当  
の拡充などを打ち出した。

2025年2月28日付  
(共同通信社配信含む)

3万9288人で、死亡数  
が出生数を上回り、2万4  
445人の「自然減」とな  
った。婚姻数は前年比39件  
増の9437件、離婚件数  
は同100件増の4221  
件。死産数は7人減の29  
5人だった。

